



自衛隊栃木地方協力本部

大田原地域事務所管内・本部長による防衛白書説明 ～ 9市町と連携強化～



防衛白書説明（本部長とさくら市長）



副本部長（左）と塩谷町長



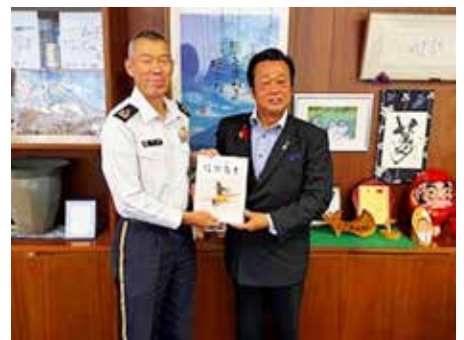
本部長と大田原市長



本部長と那珂川町長



本部長と那須烏山市長



本部長と那須町長



副本部長（左）と高根沢町長



那須塩原市長と本部長

大田原地域事務所は、「今後も、地域と連携し、自衛隊の理解を深めるとともに募集基盤の強化に努めていく」とコメントする。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、9市町に対し、本部長及び副本部長が実施する防衛白書説明に同行した。

防衛白書説明は、防衛省の施策について各市町に理解を深め、連携を強化することを目的として毎年実施している。また、宇都宮駐屯地から災害時の担当部隊である東部方面特科連隊第2大隊の担当者も同行し、連携を深めた。

同事務所は、栃木県内の担当エリアも広く、市町の数も1番多いことから、今年度は、10月1日（火）那珂川町・大田原市、10月8日（火）塩谷町、高根沢町・那須烏山市・さくら市、10月9日（水）那須塩原市、那須町の順で3日にかけて行った。

各市町長は、本部長及び副本部長の説明を受け「今まで以上に自衛隊の理解を深め、災害時いざという時の連携を図っていきたい」とのお言葉を頂いた。また、大田原事務所管内の矢板市においては、北関東防衛局と連携し防衛白書説明を行う予定としている。